

生活科

昨年度の取り組みと成果と課題

【 成果 】

- ・学校探検や縦割り班での遠足等では、1、2年生が交流する機会を設け、2年生は上級生としての自覚を養うことができた。
- ・栽培活動や水鉄砲、シャボン玉作りといった活動や体験を通して、身近な自然や夏の特徴を生かしながら、友達と仲よく、夏の遊びを工夫して考えながら遊ぶことができた。
- ・町探検では、コーディネーターや地域の人との関わりを通して、地域で働いている人々に関心を持ち、考えたことを伝え合う活動を通して、自分たちの住む町に親しみや愛着をもつことができた。
- ・園芸ボランティアやコーディネーター、地域の人との関わりを通して、自然と自分と関りに気づき、季節によっての周りの様子や生き物の様子の違いを実感できた。

【 課題 】

- ・植物の水やりや成長に伴う変化の観察に意欲的に取り組むが、季節による変化などに気付いたり、表現したりする力が十分ではないことが課題である。
- ・活動や体験の中で、色々な気づきはあるが、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くまでに至っていないことが課題である。

学習状況の分析

○知識・技能

- ・1年生は、学校探検で2年生と交流したことを通して、学校生活に対する興味を高めることができた。2年生は、1年生に学校を案内する活動を通して、2年生としての自覚をもつことができた。
- ・栽培活動を行う中で、植物が変化し、成長していることに気付くとともに、親しみをもって大切に育てることができた。
- ・2年生は、町探検を通して、町の人や場所との関りが深まり、自分自身も成長したことに気付くことができた。

○思考・判断・表現

- ・学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々、通学路の様子や安全を守っている人々について考えることができた。
- ・栽培活動を行う中で、観察カードやタブレットで写真を撮り記録することで、植物が変化していく様子とともに、友達と自分の世話の仕方を比べたり、調べたことを試したりしながら、工夫して世話をすることができた。
- ・身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫して作ることができた。

○主体的に取り組む態度

- ・楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりすることができた。
- ・体験的な活動（学校探検、植物の栽培など）に、楽しみながら意欲的に取り組んだ。
- ・自然との継続的な関わりを通して、季節の変化や植物の成長などに気づき、楽しみながら世話をする児童が多かった。植物が大きく成長した様子や咲いた花やできた実に喜びを感じながら、生き物への親しみを持ち、生命を大切にしようとする態度を養うことができた。
- ・2年生の町探検では、地域の人々や場所に親しみや愛着をもつことができた。町のすてきを友達と協力して発表したり、招待した人と交流したりすることができた。
- ・コーディネーターなかよし中萩の方々と協力し、様々な植物を育てたり、地域のことを知ったりすることができた。

授業改善のポイント（観点別）

○知識・技能

- ・栽培活動を通して、自分自身の成長に気づいたり、自分の生活における新たな発見に気付いたりできるようにする。
- ・野菜をもっと元気にするために調べたことや考えたことを試したり、もっとよい方法はないかと工夫したりすることで、それぞれの野菜に合った世話の仕方があることに気付けるようにする。
- ・自分の成長について家の人やお世話になった人に聞いたり、小さい頃の写真や思い出の品を手がかりにしたりしながら、「今の自分」について振り返り、心、学習、生活、身体など、様々な面で成長したことに気付くことができるようにする。
- ・自分自身の生活や成長を振り返ることで、多くの人の支えがあることや自分でできるようになったことが増えたことなどが分かるようにする。
- ・町探検で発見したことを「町の人への願い」「町のおすすめ」「町の工夫」などの観点で思い起こしながら、伝えたことを考えられるようにする。

○思考・判断・表現

- ・身近な自然を観察したり、活用して楽しんだりする活動を行う。児童のつぶやきから気付きを取り上げ、全体に広げていく。
- ・学習内容を紹介する動画を作ったり、ポスターにまとめたりするなど、学習した内容を色々な方法で伝え合ったり発表したりする場面を設ける。
- ・自然のよさや変化に気付くことができるようにするために、実物に触れる機会をより多く設ける。
- ・学習の気付きを本人だけにとどめず、グループ・クラス・学年などに広げ、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法で発表し、一人一人の気付きを全員で共有することで、思考をより広げていく。
- ・自分の気付きや思いを表現することが苦手な児童が、自信をもって取り組めるようにグループ編成や発表形態を考慮する。
- ・自分たちの生活を支えてくれている人たちの姿に目を向けさせ、思いに気付かせるとともに、自分たちにできること考えさせていく。

○主体的に取り組む態度

- ・活動や体験の前に、交流する時間をたくさん設け、主体的に自分の思いを実現できるように活動を実施する。
- ・体験活動や地域の人々と関わりをもつ活動を意図的・計画的に取り入れる。
- ・体験的な活動を行うときに、相手意識をもって活動できるように、ゴールを設定し、児童が意欲的に活動できるようにする。
- ・栽培活動や町探検などの活動や体験を通して、自然の様子や四季の変化について関心意欲を高める。
- ・栄養士による食育の授業を通して、食についての関心を高める。
- ・ICTを活用し、植物や生き物への興味関心を高め、栽培・飼育活動への意欲を高める。
- ・自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの自分の生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからも意欲的に生活しようとする態度を養う。